



『希望の牧場』原画展

東日本大震災から15年。牛を守ろうとした人、殺処分を受け入れた人。
それぞれの大きな愛を感じる絵本の原画展を開催します。

7月2日(木)～7月31日(金)

9:30～19:00 ※最終日は17:00まで

中間市民図書館 エントランス

【希望の牧場】

作者：森 絵都 絵：吉田 尚令

出版：岩崎書店，2014年

～あらすじ～

売れない牛を生かしつづける。意味がないかな。
バカみたいかな。福島第一原子力発電所の警戒区域内に取り残された「希望の牧場・ふくしま」での実話をモデルに、何が何でも牛たちを守りつづけようと決めた牛飼いの姿を描き出す。

【吉田尚令さん プロフィール】

1971年大阪府生まれ。絵本や書籍の挿画などを手がける。『希望の牧場』（作・森絵都）で、IBBYオナーリスト賞を受賞。『悪い本』（作・宮部みゆき）、『パパのしごとはわるものです』（作・板橋雅弘）、『星につたえて』（作・安東みきえ）、『はるとあき』（作・斉藤倫、うきまる）など。挿画に「雨ふる本屋」シリーズ（作・日向理恵子）などがある。